

ありがとう 鳥茂渡小

128年の歴史に幕 児童ら別れ



宮沢賢治作「銀河鉄道の夜」を披露する鳥小児童。8人の素晴らしい演技は皆に感動を与えました。左から柾谷美祈さん（3年）、日野澤朱莉さん（6年）、金子航平君（同）、坂下大介君（同）、横田裕紀君（同）、日野澤司君（4年）、柾谷美沙子さん（2年）、高屋敷昇君（6年）

深渡宏村長は「鳥茂渡地区の発展は学校を中心としてきただけに、地区の方々には感謝の声があるでしょう。親、子、孫の3代にわたりこの地域で活躍されていることを考えると、同校が果たしてきた使命の重要さが改めて認識されます。学校が閉校になつてもこれまでの歴史と伝統を受け継がれ、鳥茂渡小学区

式典には卒業生5人と在校生3人、これまで勤務した教職員、住民ら約200人が出席し、思い出多き学びやを心に刻みました。

住民ら
200人
思い出胸に

の発展を祈っています」と式辞を述べました。

続いて道合多喜夫教育委員長が「平成に入り児童数は15人前後でしたが18年度には10人を割りました。児童の将来を考えやむなく統合になりました。在校生の皆さんは普代小学校で元気に楽しく学ぶことを期待しています」と閉校の告示を行いました。

鳥茂渡小学校（荒谷栄子校長、児童8人）の閉校式典が3月21日、同校屋内運動場で行われました。村の歴史で初めての小学校の閉校。同校は3月31日で128年の歴史に幕を閉じました。式典では児童や多くの皆さん、思い出がたくさん詰まつた学びやに「ありがとう」と感謝をし、別れを告げました。

荒谷栄子校長は同校の歴史をひもときながら「これまで学校、家庭、地域が一体となつて地域の宝である子どもたちのために積み上げてきた財

地域の歴史
いつまでも